

事業優先順位		4	細事業:高野街道にぎわい・まち並み再生事業					整理番号	06		
目的		河内長野市指定文化財旧三日市交番を保存修理し、高野街道旧三日市宿があった三日市町への交流人口の拡大をめざし、地域住民の地域への関心と愛着を育むために、活用を行う。									
目標		河内長野市指定文化財旧三日市交番の保存修理を完了する。 地元自治会と協働運営に関する協定を締結し、地元と協働で開館を行う。									
事業実施主体		直営	事業開始年度	平成22年度	根拠法令	河内長野市文化財保護条例第3条					
事業費・財源				平成24年度	比較	コスト情報・従事職員数				平成24年度	比較
	事業費(決算額)(千円)			26,567			総コスト(千円)			28,313	
	財源内訳	一般財源		1,182			内訳	事業費		26,567	
		国府支出金		16,150				人件費		1,746	
		地方債		0				公債費		0	
		繰越金		9,235				一人あたり(円)		251	
				0				世帯あたり(円)		600	
				0			参考	職員数(人)		0.22	
			0		再任用職員数(人)				0.00		
	今後の方向性		現在、三日市小学校区連合町会と市で河内長野市指定文化財旧三日市交番管理運営委員会を発足し、住民主体で施設の活用ができるように協議を行う。								
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	文化財活用の対象となる市民・市への来訪者						
	A	A	A								

事業 優先順位		5	細事業:「文化財のまち」啓発事業				整理 番号		07	
目 的		「文化財のまち 河内長野」を広く市内外に発信し、本市の歴史や文化遺産に関心を持ってもらえるように働きかける。								
目 標		・歴史年表を印刷し、活用しに備える。 ・河内長野市生涯学習推進マスコット「くろまるくん」の着ぐるみを作成する。 ・紺屋型紙クリアファイルを増刷し、市内各施設、書店等で販売する。								
事業 実施主体		一部委託	事業開始 年	平成24年度	根拠 法令	河内長野市文化財保護条例第3条				
事業費・財源	財源内訳	事業費(決算額)(千円)		平成24年度	比 較	コスト情報・従事職員数	総コスト(千円)		平成24年度	比 較
		一般財源		1,166			事業費		2,753	
		国府支出金		977			人件費		1,166	
		地方債		0			公債費		1,587	
		画像製品販売収入		0			一人あたり(円)		0	
				189			世帯あたり(円)		24	
				0			職員数(人)		58	
				0			再任用職員数(人)		0.20	
									0.00	
		今後の方向性		今後も新たな関連グッズを作製し、販売する。						
評 価	妥当性	効率性	有効性	対象者	地域の将来を担う児童・生徒 文化財活用の対象となる市民・市への来訪者					
	A	A	A							

細事業：高野街道にぎわい・まち並み再生事業

1. 河内長野市指定文化財旧三日市交番の保存修理

平成 23 年度から引き続き、河内長野市指定文化財旧三日市交番の保存修理を行い、7 月 12 日に竣工した。

2. 河内長野市指定文化財旧三日市交番の活用

修理を終えた河内長野市指定文化財旧三日市交番について施設管理を行い、施設内でのパネル展示、文化財展示を行った。また、修理報告書を河内長野市文化財調査報告書 第 54 輯として刊行した。

細事業：「文化財のまち」啓発事業

1. 河内長野市生涯学習推進マスコット「くろまろくん」着ぐるみ作成

河内長野市生涯学習推進マスコット「くろまろくん」を PR するため、着ぐるみを作成し、活用を図った。

2. デジタル画像製品作製・販売

ふるさと歴史学習館が収蔵する「紺屋型紙」及び「引札」を高精細デジタル画像化したデータを使用して、デジタル画像製品（クリアファイル・一筆箋）を作製し、文化財デジタル資料の活用を図った。

- ・クリアファイル 2,000 枚
- ・一筆箋 500 冊

3. くろまろ PR 事業

河内長野市生涯学習推進マスコット「くろまろくん」をデザインした物品（缶バッジ・クリアファイル）を作製した。

- ・缶バッジ 1,000 個
- ・クリアファイル 1,000 枚



4. 歴史年表の印刷

歴史年表を 2,000 部印刷した。

